



●はじめに

早稲田イーライフは健康で楽しく長生きできるお手伝いをします

皆様、本日はお忙しい中、運営推進会議にご出席いただき誠にありがとうございます。今年の夏は東京でも40度を超える日があり、体調管理の大切さを改めて実感する猛暑となりました。皆様もくれぐれもご自愛ください。

私たちのデイサービスは、「地域社会に貢献したい」という思いのもとスタートし、おかげさまで間もなく10周年を迎えようとしています。これまで多くの方が運動を通じて前向きな変化を見せてくださり、大きなやりがいを感じております。また、昨年4月に開所した相模原の施設も順調に運営を続けており、新たなスタッフとともに、より良いサービスを目指して取り組んでおります。

これからも、安心して運動に取り組める環境づくりを通じ、地域の皆様の健康を支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●運営会社

株式会社アドバンスコーポレーション

本社：多摩市和田842-4

設立：平成28年7月21日

代表取締役 青木 亨



●事業理念

- ・地域社会への貢献(地域のインフラを目指します)
- ・働く人が、やりがいを持って楽しく働く場所の創造

●運営方針

早稲田イーライフ多摩貝取は、ご利用いただく皆様が明るく元気で自立した生活を営むことができるよう、日常生活に必要な筋力や基礎体力を維持する為のお手伝いをいたします。

サービス内容

【介護予防特化型デイサービス(早稲田イーライフFC:全国に114施設)】

- ・早稲田大学スポーツ科学部の研究施設で開発された介護予防プログラム
- ・短時間(3時間)で個々の身体状況に合わせた機能訓練中心のプログラム
- ・ノルウェーで開発されたレッドコードで安全にストレッチ&バランス訓練を実施
- ・ロコモ(寝たきり状態)予防トレーニング”イートレ”(下肢トレーニング)の実施
- ・歩行データ測定(AYUMI-EYE:3か月ごとに計測)

【営業日】月曜日～金曜日

【サービス提供時間】

午前: 9時00分～12時10分(3時間10分)

午後: 13時30分～16時40分(3時間10分)

【定員】10名

※要支援・要介護の方が、それぞれ認定が変わっても引き続き利用可能となるよう、両方の許認可を取得し概ね同プログラムを提供しております。(要介護の方には個別機能訓練を実施)

他施設との差別化 取り組み

・AYUMI-EYEの導入

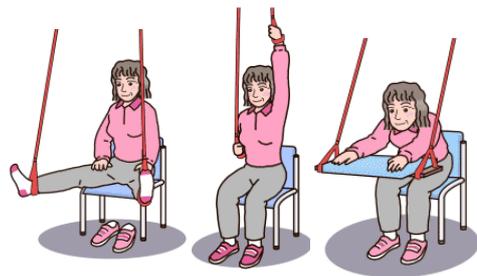
⇒タブレットを使用した歩行測定による歩行状態の見える化の実現

【AYUMI-EYEとは】
センサーを腰につけて歩くことで推進力、バランス、リズムを計測。力のかかりやすい方向がバランスマップとしてわかりやすく表示され、歩き方のクセを把握し、転倒予防や運動目標を立てることができます。



・レッドコードによるストレッチ

⇒マシンによる筋力アップの運動プログラムにプラスし、レッドコードによるストレッチ運動の実施



・イーライフボールによる筋肉ほぐし

⇒準備体操にイーライフボールを取り入れ、筋肉を弛緩



おしりほぐし

背中ほぐし

・要介護認定者への個別機能訓練の強化

⇒生活動作改善の為の個別機能訓練実施(※総合事業認定者も希望者は実施)

・少人数定員にこだわり、一人一人との触れ合いを重視

⇒様々なレクリエーションを行い、ご利用者様同士やスタッフとのコミュニケーションも大切に

オープンからの歩み

- 平成 28年12月 総合事業許認可(要支援、事業対象者) 見学開始
平成 29年 1月 総合事業利用開始
平成 29年 2月 地域密着型許認可(要介護) 利用開始
令和 6年 4月 相模原市緑区に2号店(早稲田イーライフさがみ)を開設



にぎやかで
フレッシュな
多摩貝取店



お陰様で間もなく10周年を迎えます



和気あいあいと
和やかな
さがみ店

利用状況

利用者数(9月1日現在)

63名 (利用率 105%) 半年前に比べ3人増加 (利用率5%増加)

※前回3月より利用者が減少傾向でしたが、9月になりまた見学が増えてきました

年代別利用者数

90代	18名
80代	32名
70代	13名
60代	0名
平均	84.8歳

※半年前とほぼ変化なし

介護認定別

要介護5	1名
要介護4	0名
要介護3	3名
要介護2	10名
要介護1	14名
要支援2	14名
要支援1	11名
事業対象者	10名

総合事業(支援) 55.6%

地域密着(介護) 44.4%

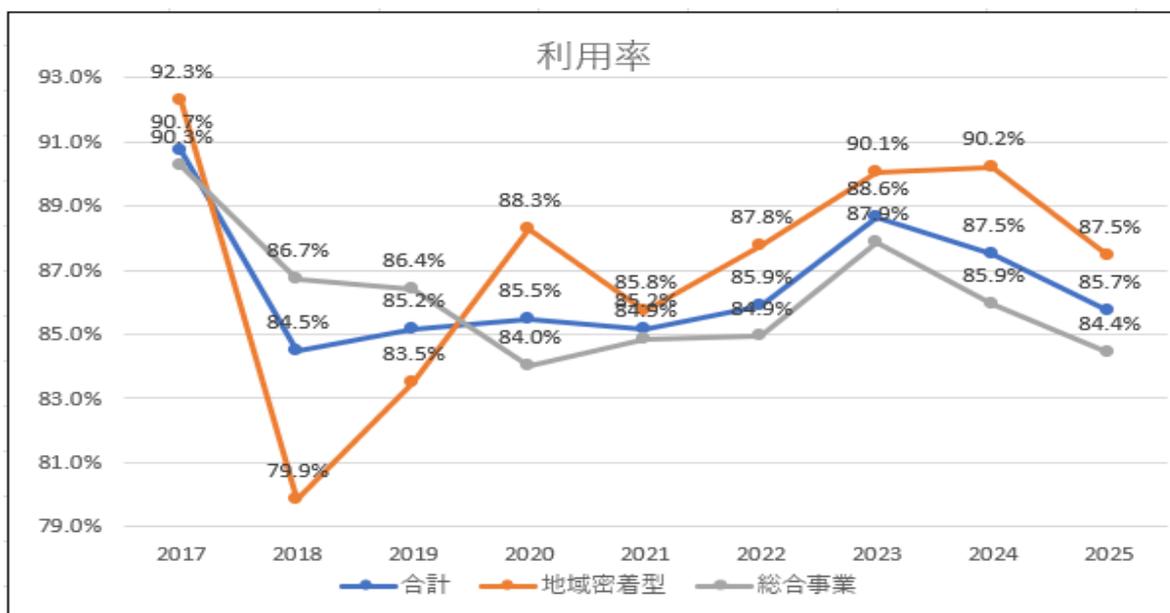
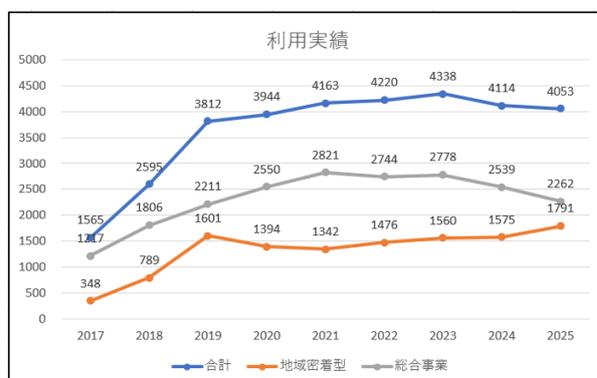
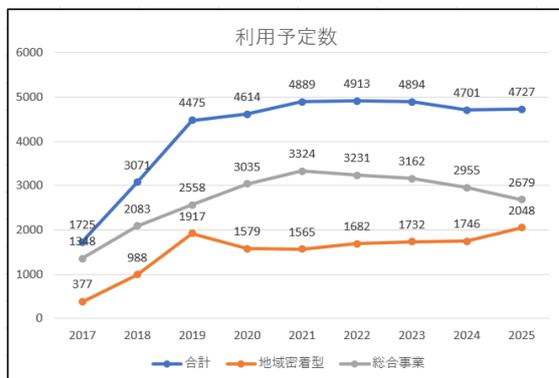
※半年前に比べ要支援者が減った

性別

男性	19名	30.0%
女性	44名	70.0%

※半年前の男女に割合が増えた

ご利用の推移



※地域密着型(要介護)の利用割合が上がってきている傾向がある

※総合事業(要支援)の利用が減少傾向にある

※2025年は9月以降は平均値で概算計算

ヒヤリハット・事故報告

ヒヤリハット

※年月無しは、発生件数ゼロ

年月	件数	主な内容
開業～令和4年3月	31	5年間の件数
令和5年1月	1	施設内でしりもち
令和5年1月	1	施設内でのつまづき
令和5年4月	1	施設内で転倒
令和5年5月	1	施設内でのつまづき(ふらつき)
令和5年11月	1	施設内で転倒
令和6年1月	1	飲料での誤嚥
令和6年6月	1	施設内でのつまづき
令和6年7月	2	施設内でのつまづき、膝崩れ
令和6年10月	1	運動中の傾眠
令和7年1月	2	施設内でふらつき、送迎中の貧血
令和7年3月	1	施設内でのつまづき
令和7年4月	2	施設内でのつまづき、めまいによるふらつき
令和7年7月	1	施設内でのふらつき

※つまづきのあった箇所では黄色のテープを貼って目立たせたり、つまづきやすい方は必ず施設内の移動時スタッフが付くなどして対策しております。今後も細心の注意を払って対応してまいります。

事故報告

年月	件数	主な内容
令和2年8月	1	手指消毒アルコール噴霧が目に入った
令和7年6月	1	お迎え時自宅マンション廊下にて額を強打。裂傷。ご主人が救急車を呼び救急搬送。5針縫合。

※送迎車が到着する場所まで出てきてくださる方が多く、今回はスタッフが到着した時にはすでにマンション廊下の壁に額をぶつけておりました。玄関まで迎えに行くので一人で外に出てこれられないよう注意喚起をいたしました。

ご利用者住所(地域別)

※包括支援センターエリア区分け

北部地域	16名	一ノ宮、関戸、愛宕、貝取1、豊ヶ丘1
西部地域	7名	和田、東寺方
東部地域	7名	諏訪、聖ヶ丘、馬引沢
中部地域	13名	豊ヶ丘、永山、貝取
多摩センター地域	20名	落合、鶴牧、唐木田、中沢

※地域により利用者の傾向は変わらない

職員の変更・資格の取得状況

生活相談員	4名	※介護福祉士3名
介護福祉士	3名	
柔道整復師	1名	
実務者研修受講修了	4名	※来年度1名が介護福祉士受験予定
認知症基礎研修終了	2名	

※現職員は認知症に関する研修受講済み

ご利用者様・ご家族様の声

・猛暑で1歩も外に出られなくなったが、イーライフは送迎があるので助かる。



・妻が亡くなってから鬱傾向になり食事も摂れなくなったが、イーライフで運動してまた食欲が出た。



・運動で体力がついたので孫たちとディズニーランドに行けた!!



・一人暮らしなのでみなさんと会話するだけで楽しい!



・最初は自分にもできるのかと不安だったが、スタッフさんたちが丁寧に教えてくれるので気分よく運動できる。



・レクリエーションも隔週で行ってくれて「今日は何かな?」と楽しみに通っている。



・レッドコードの運動で高い位置のものが取れるようになった。



・握力がつき、ペットボトルの蓋が開けられるようになって嬉しい!

・運動習慣が身について、昔のように夫婦で散歩に出かけるようになった。近所の人からも若々しいと言われるよ!!



・スポーツジムのような雰囲気なので男性でも通いやすい。マシンも充実していて気に入っている。



【ご家族からも喜びのお声をいただいております!】

・半日家を空けてくれるので買い物や自分の通院に安心して出かけられるようになった。

・デイサービスに行っている間ほっとする時間を取ることが出来てストレスが軽減された。

今後の課題

- ・ご利用者の増減が激しい1年となった。安定した経営を目指すための施策が必要である。
- ・これ以上のご利用者の増加が見込めない
- ・土曜日、日曜日の施設の有効利用を検討する

さいごに

高齢化が進み、介護や健康に対する関心がますます高まるなか、私たちのデイサービスには、地域の中で果たすべき役割がこれまで以上に求められていると感じています。利用者の皆様が「ここに来るのが楽しみ」と思っていただけのように、安全で安心な環境を整えるとともに、一人ひとりの状態や目標に合わせた運動支援や関わりを大切にし、日々の暮らしがより豊かになるよう努めております。また、ご本人だけでなくご家族の支えにもなれるよう、情報共有やご相談の機会を大切にしながら、地域全体で高齢者の健康づくりを支える視点を持って取り組んでおります。

今後も早稲田イーライフ多摩貝取、早稲田イーライフさがみの両施設が、地域に根ざした信頼される場所であり続けられるよう、スタッフ一同、誠心誠意努めてまいります。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

E-life